

震災から3年～あの日を覚えていますか～

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から3年を向かえ、3月11日は「みやぎ鎮魂の日」として制定されました。(平成25年4月)

七ヶ宿町は他県や近隣市町に比べて被害が少なく、当時の記憶は早くも風化しつつあるのではないのでしょうか。



『ろうそくや懐中電灯の明かりで夜を過ごし、 一滴の水を大切にしたあの日を覚えていますか？』

3月11日は震災発生時刻(午後2時46分)に震災で犠牲になられた方々に黙祷を捧げご冥福をお祈りしますので、町民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。
※サイレン吹鳴はありません。

国道113号 町内随所で車が立往生

2月15日、全国各地で南岸低気圧による大雪となり、大きな被害が発生しました。国道113号は当日の午前中から短時間で急激に増えた積雪や吹き溜まりにより、町内の随所で立往生する車両が続出しました。この影響で除雪作業が困難となり、白石市滝ノ下と高畠町二井宿間が通行止めとなり、規制が解除されたのは、16日午前7時頃となり日常生活にも大きな支障が生じました。

長時間にわたる道路の規制は30年以上記録がないほか、湯原地区では180cmを超える積雪を記録するなど近年にない豪雪となっています。

自然災害はいつ発生するか分かりません。日頃から災害に備え、自らの生命、財産を守るようにしましょう。



積雪により立往生した車両(峠田地区)